

自由回答のまとめ

子どもや子育てについてのご意見やお考えを自由に書いていただいたところ、370人(33.9%)の方が記述してくださいました。

以下は、全ての記述内容を「親・大人」、「経済的負担」、「保育料」、「相談」、「就労」、「子育て支援」、「サークル・講座」、「交流」、「社会環境」、「学校・教育」、「学童保育」、「医療」、「育児」、「遊び場・施設」、「遊び」、「行政」、「交通」、「調査票」、「その他」の19項目に分類し、まとめたものである。

回答内容	件数	項目
叱るべき場面で親が注意できない。良いこと、やってはいけないことを、しっかり教えるべき。	7	親・大人
学校などで、自分勝手な要求をする親が多いため、親の教育も必要。	4	親・大人
今の若い人達の子育てを見てみると、子よりも自分優先の親が多いように思う。そのため非常識な子供に育っていたり、わがままな子供になっていたりと、保育園や学校生活では我慢のできない子供たちがたくさんみられる。	3	親・大人
子ども自身が考えなければいけないように誘導してあげるような教え方を、大人みんなで考えながら行っていく。ただ答えを教えるのではなく、ただ注意するのではなく、何事にも理由がある事もキチンと説明してあげる。学校でも家庭でも、子供だからと適当に対応しないで、1人の人間、小さな人間として成長させてほしい、成長させてあげたいと思っている。まずは、大人自身のモラル低下をどうにかしないといけないと思う。	2	親・大人
子供は親を見て育つので、きちんとした態度で誠実に生きていきたい。	1	親・大人
離婚する親が多い。子供が欲しくて産んでいるのではない様な気がする。	1	親・大人
行政に対して、「ああして欲しい」「こうして欲しい」と要望するばかりではなく、親として現環境に合った子供の対応を学ばなくてはと考えている。子育てに必要なのは健全な大人の背中であると思う。	1	親・大人
子供は自分の作品。自分がしっかりして、責任をもって1人1人の人間として子供と向きあうことが大事。子育てをしてみて、勉強になる部分がとてもあると思う。	1	親・大人
最近、病院の待ち合い所などで、自分の子供に目もくれずにスマートフォンに夢中になっている親が目立つ。もっと、自分の子供に興味、関心を持つべきだと思う。自分もそのようなことがないよう戒めている。思いやりのある人間に育ってほしいので、やさしさ、愛情を注ぐよう意識している。	1	親・大人
基本的に家庭で子どもの人格や心を育てるのだと思う。いくら学校や環境といってもその子の考え方、性格が左右すると思うから。一番身近な家族がそのすべての基本になると思う。	1	親・大人
自分がしたい、しなければならないことの為に、子育てをテレビやテレビゲームにまかせてしまっている。そのことにより、困ったらリセットボタンが押せると考え、いじめ、殺人など考えられない行為に及ぶ人が多くなっているのではないかと不安である。	1	親・大人
今の若い世代は、子どもができ、親になっても今までのライフスタイルをくずしたくない人が多くなっているように感じる。子どもを多く産み、生活が大変になるよりだったら、少なくとも、じっくり育てたい人が増えているのではと思う。	1	親・大人
今は親が親になる前に子供を産んでしまい、親としての威厳で育てているのではなく、子供に聞きながら、子供の言う通りに子育てをしているので、しっかり大人になりきれないのだと思う。子供を産む前に親になるための教育も必要である。	1	親・大人
保育料の負担が大きいため、保育料の軽減・無料化を望む。	29	経済的負担
中学から大学にかかる教育費の負担が大きいため、教育費の減額・無料化を希望する。	28	経済的負担
経済的不安により子供を産めない。	25	経済的負担
子育てに対する経済的不安を感じる。	20	経済的負担
医療に関わる費用の減額・無料化を希望する。	16	経済的負担
消費税などの税金への不安・不満がある。	12	経済的負担
子ども手当の増額を希望する。	11	経済的負担
市町村によって子供の医療費負担額が違うが、統一してほしい。	8	経済的負担
収入が少ない・不安定である。	6	経済的負担
子供が多い家庭への援助を希望する。	4	経済的負担

回答内容	件数	項目
義務教育なら、ランドセル・ジャージ等の学校で必要な物品も提供して欲しい。最低1着のジャージが支給される事で大変助かる。ランドセルも自由にすれば良いと思う。必要な物をもう少し安くしてほしい。夜勤までして働いても出費がありすぎて時間もお金も足りない状況。	2	経済的負担
経済面などで、子供がやりたいことをあきらめることなくなんでもやらせてあげたい。	2	経済的負担
生活費が足りなければ母親が働かなければならなくなり、子供が犠牲になってしまい非行に。世の中子供を増やそうというのであれば、こういった現実を見たほうが良い。どうか、世の中が子供の笑い声であふれることを願う。	1	経済的負担
女性の仕事場がたくさんあり、子供が病気の時、預かってくれる場所が近くにあれば、子供を産んだ後の仕事の心配も少なくすむ。3人、5人以上産んだ人にお金や土地、アパートを提供するなどしてはどうか。	1	経済的負担
地方と都心の物価や生活費の違いがある。	1	経済的負担
基本的に社会において強い人が弱い立場の人を少しずつ助け合うことが大切だと思う。	1	経済的負担
低所得世帯からもお金をとるのに、国、県からのお金のバラまきや援助の仕方には不公平がありすぎ、子育てに対しての不安は消えない。「低所得世帯」にギリギリ入れなかった人たちにも目を向けてほしい。	1	経済的負担
子ども医療費が現物給付になり、お金を心配する事なく病院へ行くことができ助かっている。	1	経済的負担
子供が病気になったりすると仕事を休まざるをえず、休むと周りの人への負担になって、休みづらいのが現状。病児保育に預けてもお金がかかるし、病気の時、側にいれないのは自分にとっても子供にとっても心の不安になる。	1	経済的負担
以前にくらべて、子育てに対し、給付金があったりして個人的にはとても助かっているが、それでも生活的に厳しい所がある。	1	経済的負担
習い事、保育料などとても金銭的には負担になるし、家庭によってどのくらいお金をかけられるか、子供たちを見ていて差も感じる。一部でスポーツをするために小中学校を選ぶ人もいて、義務教育のうちから学校によって差がでてくるのもどうかと思う。	1	経済的負担
考え方などは個人差が大きいがお金がかかるという認識はかなりの人が共有できると思う。郡部に住んでいると、教育にお金をかけないと市部の子供とは戦えない。本人が望んでも、市部の塾に通わせるための交通費（交通も不便なので送迎）など、叶えるのが難しい状況だ。せめて奨学金など充実させてほしい。	1	経済的負担
健やかな子育ての為、現在より少しでも良い体制、環境になる事を望んでいる。	1	経済的負担
乳児医療に、所得制限つけないでほしい。せめて800万以下にしてほしい。	1	経済的負担
もっと国の援助等で、残業や子ども手当などに頼らなくても、生活していける環境がほしい。お金に余裕が無くなると、子どもの将来、環境など考えている余裕がもてなくなる。	1	経済的負担
税金の控除をとにかく増やして欲しい。	1	経済的負担
高齢者よりもこれからは子どもへの支援をすべき。	1	経済的負担
今の世の中、子育てに“わくわく”できる人は、経済的にゆとりのある人だけではないか。娘は成績がいいが、大学に行かせる余裕もなく、すごく複雑な気持ちだ。教育格差である。貧乏のスパイラルだ。「自己責任だからしょうがない」のだろうか。	1	経済的負担
年齢上限を定めない、不妊治療の全額負担。	1	経済的負担
子どもがいる生活は幸せだが、共働きをしないと生活が苦しいのも現実。	1	経済的負担
幼稚園の無償化と子供の医療費助成の延長を強く希望する。	1	経済的負担
子育ての間（せめて小学校入学～卒業）はどちらか一方の収入だけでも暮らしていける位、育児に専念できるのが理想。	1	経済的負担
医療控除、児童手当等がとてもありがたい。	1	経済的負担

回答内容	件数	項目
負の連鎖、「貧乏な親の子供は将来貧乏になる確率が高い。」とテレビでやっていたが、正にそうだと思う。	1	経済的負担
消費税も上がるので、公共施設（水族館や美術館など）は、小学生までも、幼児と同様に無料にして欲しい。	1	経済的負担
教育費が高くなると、働く親が増え、子供がネットに夢中になり、ニートやひきこもりが増えてきているので、自分の子供の未来が不安だ。もっと子育てのしやすい社会にしてほしい。	1	経済的負担
秋田県等は、子供の医療費が無料である。低所得者だけ無料にするのはおかしい。子供たちは平等であるべき。	1	経済的負担
とにかく毎月の生活がきびしい。自分のまわりの家庭もみんなギリギリで生活している。もう少し家庭を持っている人が安く住める所がほしい。	1	経済的負担
学校が少子化により統合してきているので、通学費の補助金制度があっても良いと思う。特に地元には高校のない子供が通学費にお金がかかる為、親の負担が大きい。	1	経済的負担
保育料、教育関係費が給料の3割～4割必要な時もある。国や県が責任を持つというが、全く納めできない。どこに支援しているかも分からない。子供が小さく、フルタイムで働けない時期にたくさんのお金が必要であることを理解できていないのではないかな。	1	経済的負担
ミルク代、オムツ代の補助等を検討してもらえると助かる。	1	経済的負担
産休後、元の職場に復帰できる方はいいが、新たに就職してパートとして働けば子供の具合が悪くなり休む事で少ない給料が更に減り生活していくのがとても大変。	1	経済的負担
国民健康保険は子供は無料だと非常に助かる。	1	経済的負担
低所得者が苦勞しないで子育てができる環境、世の中であれば子供を育てるのにいいと思う。	1	経済的負担
ひとり親は他の人とくらべたら、負担は大きいと思う。ひとり親に関する質問はなかったが、もう少し援助してくれる制度をつくってくれたり、再婚についてどう思うか、そういう場をどうやってつくったらよいかなど考えてくれたらいいと思った。	1	経済的負担
習い事や色々な物に接する様にさせたいが、社会保障のためか、税金ばかり増額し、子供にかかるお金がまったくない。税金を払う為に生きている・働いている様な気がする。児童手当をもらっても、他の税金が上がるから、何の意味もない。	1	経済的負担
今の世の中、大人社会に経済的、時間的ゆとりがなく、それが精神的ゆとりの不足につながっていて、子ども社会、子育てに影響していると思う。母親同士の話題は常に「お金」のこと。働いても働いても、子どもの事にお金がかかり過ぎる。自分たちが子どもの頃はお金をかけてもらえなかったけど、のびのびしてよかった。社会全体が「のんびり」したら子どもたちも幸せなのではと思う。	1	経済的負担
家のローンや車代もあり、子供にばかりかけられないという人も多いので、最低限の子育てに必要な保証があればいいと思う。	1	経済的負担
夫、自分も仕事が日祝に関係ない仕事のため、休日保育費もかかる。児童手当の他に休日保育園料の半額でも負担する制度（市で負担するとか、企業で負担するとか）があれば助かる。	1	経済的負担
母子家庭なので十分に進学させてあげられるか不安になる。お金がないために、やりたい事をあきらめてしまうのが怖くてしょうがない。なるべく、子供たちの希望をかなえてあげられるように私もがんばっていきたい。	1	経済的負担
ひとり親は特に経済的に不安な所がある。	1	経済的負担
児童手当や児童扶養手当等の見直し。母子家庭のため児童扶養手当を受給していたが、今回一緒に住んでいる弟の所得が多いからと全額停止になった。弟から養育費をもらっているわけでもないのに納得がいかない。私1人の収入では、生活が苦しいので一緒に住ませてもらっているのに、今回のことでますます生活苦になった。	1	経済的負担

回答内容	件数	項目
全国的に晩婚化、高齢出産が増えている今、自分もその1人だ。出産費や、子供手当があるのはありがたいが、その先を我が家では考えている。定年という壁の前に子育てに対する金銭的な不安は拭いきれない。これからは我が家の様な不安を持つ家庭は少なくないと思う。もっと長期的な政策を考えてほしい。	1	経済的負担
低所得者は給食費など色々と免除になるようだが、少し納得いかない部分もある。どこまで免除になるのか、はっきり一般人にも教えてほしい。低所得者の方が、私たちより裕福な生活をしていると一生懸命働いている私たちはバカくさくなる。	1	経済的負担
10年前の子育てと比べると、児童手当や出産費用の援助、通院費の援助など、金銭面ではとても改善されていると感じる。育児休業も企業差はあるものの、若い世代を中心に取得する人達が増えてきているように思うし、保育所等の時間保育や夜間保育など就学前の子供のサポートは充実してきたと感じている。	1	経済的負担
以前住んでいた場所（県外）では、子供の医療費が中学卒業まで、薬代も含め無料だったが、こっちは収入の制限がある。県として、脱短命県を目指しているところとは思いますが、安心して子供を育てていける環境作りに、具体的に取り組んでほしい。今まで転勤で全国を回ってきたが、残念ながら子育てについては最低レベルである。	1	経済的負担
農業を手伝っているという理由だけで、安い保育料で入園している子が多数いるが、親は実際働いていない人もいる現状をなんとかしてほしい。	1	保育料
今年度、保育園（認可）の保育料が色々な制度にそっての事なのだろうが、約2.5倍に上がった。給料がいくら上がっても、保育料と一緒に上がってしまえば、意味が無い。預けるのをやめようと思った事もあるが、仕事をやめるわけにはいかず、苦悩している。	1	保育料
子育てにお金がかかるからパートにでたりするのに、パート収入の1/4位が保育料になってしまい何のために仕事に行っているかと思う。保育料をもっと下げてほしいとは言わないが、医療費などを小学校低学年位まで無料などにしてほしい。	1	保育料
保育園によって、遅番のおやつ代をとる所と、タダの所とあり、どうして同じ認可保育園なのに違うのか、と思う。	1	保育料
不登校の子供を持ち、学校のカウンセラーにも協力を依頼したが、連絡や相談もなく、あまり指導されていないように感じる。	1	相談
一人目を出産した時、引っ越したばかりの土地で近所に知り合いもなく、実家も他県であったので、本当に孤独だった。主人も仕事が忙しく毎日残業で、子育ての大変さ、孤独さをわかってくれなかった。「子育ては大変なので周りの人は協力する」というのが社会の雰囲気として普通になると子育てしやすくなると思う。	1	相談
妊娠した時に元気プラザの方が親切にいろいろ教えてくれて安心した。	1	相談
子育てについて気軽に相談できる相談センターとよく耳にするが、本当に悩んでいる人は、簡単にその様な場所を利用出来ないと思う。「どこかで情報がモレてしまう」とか「あの人があの場所へ来ていた」とかの言葉を気にしている人もいるはず。	1	相談
不登校の子供がいて、2週間に1度程度教育センターへ行き、スクールカウンセラーの先生に相談しているが、もっと早い時期から相談できていればと思う。各学校に一人ずつ常勤し、いつでも気軽に生徒も保護者も相談に行けたら良いと思う。	1	相談
「子育て支援」は主に手のかかる幼年期へは手厚く感じる。子育てに悩んでいて相談できない方には、サークル活動、相談窓口は有効と思うが、実際にはごく一部の方の利用で、身近で状況のわかる同世代仲間への相談が多いと思う。	1	相談
子供の教育などに関する相談はちょっとしたことなら担任の先生に相談できるが、児童相談所となると敷居が高いようで、その中間のものがあつたりしたら利用しやすいと思う。	1	相談
初めての子育ては、わからないことばかりで不安ばかりだった。自ら動けば、いろいろな所に相談ができたり、アドバイスがもらえるが、小さい子をかかえては、なかなか自ら動くことが難しいことも多い。そういう部分で援助があるといいと思う。	1	相談

回答内容	件数	項目
子供服の店や大型ショッピングセンターなどには子供ののせるカートがあるが、他の店にも置いてほしい。ショッピングセンターに授乳室やおむつ替え台だけでなく保健師の相談室などもあって、買い物 が て ら に 気 軽 に 行 け る 感 じ で 良 い な と 思 っ た。	1	相談
子育てを楽しみながらできる環境にしていきたい。親になる前に、悩んだ時や相談機関などを教えておく。虐待する親は育て方がわからない人もいると思う。外国の介護喫茶のように、気軽に行き相談したり、みてくれる所があればいい。	1	相談
産休や育児休暇を義務化するなどして、取得しやすい環境作りが必要だ。	12	就労
上司・会社が子育ての大変さを理解していないので理解してほしい。	11	就労
子供の病気、行事等での休暇が取りにくい。(休みづらい、休めない。)	7	就労
子供を持っていると就職を断られる。	5	就労
パートをしたくても、平日14時くらいまでの雇用がほとんど無く、子育てしながらの仕事に限りがある。土日祝日の勤務ができないのだが、そういう事情を考慮してくれる企業もほとんど無い。働きたくても働ける場がない。もっと短時間パートを受け入れてくれる企業が増えてほしい。そういった職場を積極的に紹介してほしい。	4	就労
子育てと仕事の両立(バランスを取るの)が難しい。	4	就労
パートは健診なども定期的ではないので、2~3年健診を受けられないこともある。	1	就労
パートは有給ももらえず、時給も低く、働ける時間も限られているため、子供が大きくなるにつれ生活が厳しい。あと1人子供が欲しくても、教育費を考えると無理だと断念してしまう。	1	就労
もっと子供との時間が欲しいが、働かないとやっていけないのでとてもツライ。	1	就労
少子化対策を早急に進めた方がいいと思う。会社内に保育所をつくる(給付金を出して補助する)など、海外の少子化が回復した国を参考にすると良い。	1	就労
夫婦ともパートタイム労働という家庭もちらほら見受けられる。県内の雇用対策など安定した収入を得るための政策を県、市町村にお願いしたい。	1	就労
上司の理解があり、短時間勤務にしてもらったり、出勤時間をズラしたりしてもらうことが出来た。	1	就労
パートで仕事をしているのに、週に6日8時~17時過ぎまで仕事で、子供達という時間が少ない。	1	就労
経済的なものやこれからの教育費を考えると、夫婦共働きがベストである。	1	就労
配偶者に五分五分の子育てを求めても、忙しい職場なので目をつぶっているが、これが核家族だったらと思うとゾッとする。	1	就労
青森県内の就労条件などが他県などと比べ、賃金など低い状態にあり、子育てや子作りに意識を向けにくい。生活に余裕があれば子供の数も増えるはず。早急課題として、少子高齢化を危機として考えるなら、20才~40才後半の就労条件と賃金のあり方を県の指導と条令などで公務員、一般問わずに働きかけるべき。	1	就労
都会と違い、地方での仕事はギリギリでの雇用の為、育児休業なしで、学校行事の参加も最小限に留めるしかない。	1	就労
母親がパートの場合、産休・育休はなく、辞めなければならない。	1	就労
母子家庭の雇用環境の改善を求める。	1	就労
子どもが大きくなるにつれてお金もかかってくるため、働きにいききたいという気持ちはあるが、いざ働くとなると、年齢でダメと言われるし、今まで働いていないので、仕事をみつけるのが大変。	1	就労
子育てをするには、国の金銭的なバックアップももちろん必要だが、子供がいても安心して働ける職場環境も絶対必要だと思う。	1	就労
金銭面で不安があり共働きをしたいが、子供が病気やケガをした時、休みをもらったり、早退したりするのが申し訳なく思えて働きにくい。	1	就労

回答内容	件数	項目
今の職場では、育児に関心があるので、安心して働く事ができ感謝している。育児、子育てに協力的な職場は、まだまだ少なく、一部の会社や公務員関係が多いと思う。もっと若い人が家庭を作って、子どもも2人以上いて幸せに暮らすことができるような、未来図が描けるように、社会全体でどうにかしてほしい。	1	就労
今は出産、育児をしている女性が社会復帰するための環境が不十分である。少し前よりは理解をえられてきたのだろうが、核家族化が進み周囲に頼れる人がいない女性に対してはまだまだ理解が少ない。経験を生かした仕事に就きたくてもできない人もたくさんいる。	1	就労
産休の際の、補助要員(派遣社員の、事務員としての基礎が出来ている方)を申請出来るような制度を、市町村や職安で対応してほしい。	1	就労
職場復帰に保育園の確保が難しかった。	1	就労
会社や企業にも、雇用環境を見直してもらいたい。	1	就労
子育てはお金がかかるので、共働きができる環境作りをもっと充実してほしい。	1	就労
会社経営の世代交代が進めば、育児休暇に対する考えも変わっていくのではないだろうか。	1	就労
日本のお父さんは働きすぎだと思う。やはり子育てには男親の視点での考えも必要なので、せめて子どもが小さいうちだけでも8時には帰ってきてほしい。一日10時間までといった条件を労働基準法に組み込めないものかいつも考えている。	1	就労
仕事が忙しすぎるため、子供とふれあうことが少なすぎる。仕事での業務の調整が必要。	1	就労
出産を機に仕事を辞めたが、下の子が小学校高学年になると同時に、またパートとして職場復帰した。現在の職場は昔とは違い、育児、出産、休暇もとりに易く、障害のある方にもどんどん仕事を手伝ってもらったりと、時代は変わったなとつくづく思う。いろいろな問題もあるかと思うが、どうぞ、未来の社会、子供たちのために、がんばっていただきたい。	1	就労
建築工事現場では、残業は祝祭日も含めて続いている。もっと労働者の実態について把握し、メスをいれないと、経済的に子供、子育ては公務員以外は難しい。	1	就労
社会にもっと子育て家庭の子育ての大変さ(しつけや教育)を知らせ、会社、企業は仕事量を考えてほしい。残業当たり前ではなく、時間内で済む仕事量を考えてほしい。	1	就労
育休から復帰して元の職場に戻ったが、遠距離通勤(1時間)をしている。自宅近くの支店に異動になることは当面ないとのこと。育児をしていると自宅から勤め先が近いに越したことはない。時短や育休の制度はあるが、その他に妊娠中や子育て中の勤務場所の制度もあればより子育てがしやすい社会になると思う。	1	就労
夫婦共働きで子供を育てていくのはむずかしい。パートの人材を増やして子供がいても仕事ができ、仕事をしている人も罪悪感を感じない職場環境にしてほしい。働く女性が全てキャリアアップを目指しているとは限らない。	1	就労
保育園の時間を長くしてほしい。	3	子育て支援
他県とはまったく違う何か特別な子育て支援をやってほしい。	1	子育て支援
仕事が休めない時に病気の子を預かってくれる施設があることを知ってとても助かったが、人数制限があり、時間も短く(8:00~17:30)苦労した。そのような施設がたくさんあれば便利だと感じた。	1	子育て支援
小学校と同じ敷地内にある児童館や子育て支援センターを増やしてほしい。児童館は小学生メインではなく、赤ちゃんも遊べる母親たちの交流の場にできないか。	1	子育て支援
病気の子供を預かってくれる施設が近くにない。	1	子育て支援
妊娠した時から市の対応がとても心強く、健診なども無料で受診でき大変感謝している。産後も保健師さんの訪問があり、ちょうど社会から外れたような疎外感を感じ始めた頃の訪問だったので嬉しかった。	1	子育て支援
理想的な子供の人数をみんながもてるよう、仕事や社会での負担を減らし、出産への不安を少なくする。子供が欲しい人は多いと思うので、支援に力を入れてほしい。	1	子育て支援

回答内容	件数	項目
核家族の為、子供が小さい頃は本当に大変だったが、父母どちらの実家でサポートしている人が大多数なので、悩みを分かってもらえない事も多く、全体的に余裕が無いまま、毎日を過ごしている。	1	子育て支援
実家が高県のため、身近に頼れる環境がない。近所で仲良くしてもらっているご家族はいるが、我が家は未就学児が3人いるため、なかなか甘えにくいのが現状である。ファミリーサポートサービスがあるのは知っているが、登録しそびれて利用したことはない。転勤族などで実家が遠い家庭にも親切なサービスがあればと感じている。	1	子育て支援
母子家庭で1人で子育てしている人達にももっと、子育て支援してほしい。	1	子育て支援
高齢者への福祉のほうにばかり行政側が働いているように感じる。子育て、教育のほうにもっと予算を使い、子供が社会人になるまでの家族の負担の軽減を充実させてほしい。	1	子育て支援
子どもを持つ親には、周りのサポート、優しさは、なくてはならない物だと感じた。また、子どもができてから、食事をする時も、畳のある所など、場所が限られてきた。子連れでも入りやすい場所、雰囲気は大切だと思う。	1	子育て支援
産後2ヶ月から復職、出産を機に引っ越しした為、右左もわからない状態で知り合いもなく、本当につらい思いをした。社会も会社も働く(子供がいる)女性に対し、もう少し環境整備をしてほしい。今のままでは、子供を産みたくても産める環境ではないと思う。	1	子育て支援
休日でも対応してくれる子育て支援要員<サポーター>が身近にいてくれるといい。子育て支援センターには親が共働きのため、なかなか行けない。	1	子育て支援
子育て支援センターは大きく開放的な施設が無く、内容も充実していないので参加しづらい。そんな悩みを持っている方が周りにたくさんいる。支援センターの情報、市の広報は役場に行かないと手に入らないということがとても不便。毎月ポストに入るべきだと思う。他県、市との差がありすぎる。	1	子育て支援
子育て支援に対しても青森県はまだまだだと思う。	1	子育て支援
核家族の為、つらいと思った時に協力を得にくいと感じている。仕事と両立中であれ、育休中であれ、病気や長時間のぐずりに対応している際は周囲の協力がなによりもありがたいものだと思う。子育ては楽しい事もたくさんあるので、託児室等、地域でもっと育児をサポートする体制を充実させて頂ければありがたい。	1	子育て支援
今流行の「イクメン」まではいなくても、一緒に子供の成長を楽しめる環境にしていきたい。子育て支援センターは大事だと思う。	1	子育て支援
以前住んでいた仙台市では、子供達を連れて遊ぶ、学ぶ、交流する、専門家に相談する場所があり、とても安心感があった。1人1人のママが孤立せずに子育てできる場所、多くの人が集える、サポートしてくれる施設を作してほしい。	1	子育て支援
「あおり子育て応援わくわく店」のついた紙をもらったが、ほのぼのの店に関して各店でサービスがいろいろあると思うので、もっと細かくわかりやすくまとめてほしい。また、出掛ける際に持ち歩けるような小さい冊子にしてもらえると、すぐ見ることができると思う。	1	子育て支援
常に開いている児童館がないのは辛い。	1	子育て支援
認可保育園は働いていなければ入園できないはずだが、入園している人がたくさんいる。父子家庭、母子家庭の人が安心して働け、子供もあずけることが出来るように、一時保育、夜間保育などのサービスを充実してほしい。	1	子育て支援
夫婦共働きの為、子供を保育園に預けているが、延長保育をしている子どもはほとんどおらず、仕事で残業の時など利用したくてもあまりできない。ふだんは仕事で忙しく、子供とも長い時間接する事が無いので、休みの時はたくさん遊んであげたいと思っている。	1	子育て支援

回答内容	件数	項目
現在、認証保育園に預けお泊りも利用しているが、運動会やおゆうぎ会等なく、同じ年の子供がいないため、今後小学校に行ってからのことを心配している。24時間保育や休日保育対応の園が増え選択の幅が増えてくれればと思う。	1	子育て支援
なぜ兄弟別々の保育園に通わないといけないのか。仕事をしていなくても保育園に平気で預けている人達をなんとかするべきではないのか。なぜそんなに不平等なのか知りたい。	1	子育て支援
育児休暇は3年は長いと思う。1才を過ぎたら保育園などで他の子と触れ合う機会が必要と思うが、保育士の質の向上、人員確保が重要。	1	子育て支援
母親も働けるよう、保育所の確保と病児、病後児保育などの充実を図ってほしい。	1	子育て支援
職場、親族、周りの方の理解があり、みんなに助けられながら日々の生活が成り立っている。生後2ヶ月から預けられる保育園があるお陰で子どもたち4人育ててくれている。	1	子育て支援
未就学（1歳～3歳）の遊ぶ場所が少ない。他県と比べて児童館がうまく利用できない。主に小学生主体であるのは仕方がないが、午前中だけとかならたくさん利用できるはず。他県の児童館ではもっと小さい年齢を対象とした催し物がたくさんあり、平日も歌や本読みなど充実している。もっと青森県の児童館は他県を見習えないものかと思う。	1	子育て支援
女性の仕事をしやすい環境作りを進めてもらうために、病児保育等の設備を確立してもらいたい。	1	子育て支援
保育園の先生の態度が保護者によって違うため、子供にもそのように親をみて、態度が違うのかとても心配になる。今の保育園は不満が多いが、家の近くで入れる所がやはり良いので、仕方ないと思っている。このような意見を話せる所がないかと思っている。	1	子育て支援
保育所の体制をちゃんとしてほしい。	1	子育て支援
他の地域よりも様々なサークルや子育て支援所があつて助かったが、経済的な理由で配偶者や他の家族の支援が受けられず、サークルなどに参加していても育児で困難にぶつかっているお母さんたちもいる。	1	サークル・講座
いつも同じメンバーや同じ年代の友人達ばかりだと、考えが固まってしまうと思う。支援サークルもいいし、保健士さんからのアドバイスも必要では。	1	サークル・講座
以前に「ママカフェ」という講座を受け、とてもいいものであった。関東の方では、区の助成などを受け、定期的に関催されているようである。青森でも定期的に関催されればいいのにと考えた。母親として、明日も頑張ろうという気持ちがムクムクとわいてくる講義内容だった。	1	サークル・講座
母子家庭コミュニティーがあればいいと思う。今あるのは少しかたいイメージがあるので、もっと明るく参加しやすくなることを願う。	1	サークル・講座
子育ての悩みや不安は、解決まで行かなくても、人に話し、聞いてもらうだけでも楽になるもの。悩んだり不安に思っている人に限って、サークルや講座などに行けないもの。そのような人の背中を押してあげ、一人でかかえ込まない子育てをし、共に子育てしてあげるサポートができるといい。	1	サークル・講座
近所づきあいも少なくなっているように感じるため、もう少し近所づきあいができるような社会になればよいと思う。	3	交流
子ども会の活動をもっと充実させれば良い。	1	交流
老若男女問わず気軽に参加できる「交流の場（料理クラブなどや外での食事会など）」が、町内の行事などで定期的にあればよいと思う。	1	交流
少子化について。カップルが成立しないことには子供はありえないので出会いの場があれば。	1	交流
虐待に関しては、他の人の子供の接し方をたくさんみる機会があれば、思いつめることもなく自分の間違った行動を見直し、修正もしやすいと思う。そのために地域や親や保育所など交流やサポートなど機会が多くなればよいと思う。	1	交流

回答内容	件数	項目
県や市町村が行うイベントによく出掛けている。県内地元中小企業だと年収200万台で子育てしている人がたくさんいる。そんな中、お金をかけずにたくさんの経験を子供たちにさせてあげられるようなイベントはとても興味深く、楽しめている。親がイスに座って聞くような講座よりは、親子が笑顔で過ごした楽しい思い出を1つでも作ってあげられるイベントが増えると良いと思う。	1	交流
出産後しばらく同じ年頃の子をもつ人達とも触れあうこともなかった。住む地域によって、交流が盛んな所もあるようだし、出産が初めてでそのような情報を知りえない生活を毎日くり返している人もたくさん居ると思う。他者と交流できる環境をもっと増やしてほしい。	1	交流
子供の体験活動イベントは定員が少ない気がする。学校、学年にこだわらない共同活動をさせたい。	1	交流
ねぶたなど、気軽に小学生が参加できる様にする。次の世代につながって行くと感じる。	1	交流
伝統を重んじる余り、服装など規制が厳しい。伝統は大事であるが、その時代にあった物にしないとつながらない。		
子供が大きくなっても働く会社が少なく、結局都会に働きに行ってしまう。青森の主産業従事者の生活基盤の確保に真剣に取り組んで、若い人が町を離れていかないような住みやすい環境作りが必要だ。	7	社会環境
青森県は自然に恵まれていて、人もあたたかいところだと思う。子どもにはこういうところで生活させたいと心から思うが、実際ここで暮らすということはとても厳しいと感じる。(働く場所がない、低賃金、保育所の料金の高さ、職場の理解、相談できる場がないという現実。)	1	社会環境
子供を育てる環境として、青森県は自然がいっぱいで適している反面、様々な事、経験をいっぱいしていくことには残念ながら乏しすぎる。人とのふれあいも大切な事であるが、社会を担う子供達に生きていく力を養う為には、情報と先端をリードしていく企業への見学と、見たり聴いたりしてもっと考える力を身に着けていくことが大事だと思う。このまま青森県に居ては先が見えず、考える力が養えないなら実家のある県外に帰ることが懸命なのかなといつも考えさせられる。	1	社会環境
青森の良いところは自然豊かで食べ物がうまうま、雪は多いものの、大きな災害がほとんど無いところだ。スローライフ、ハンドメイド、自然豊かなくらしをしたい人が全国にたくさんいるのに、生かされてない。小学校の合併やら、調整区域への住宅建築が出来ないなど、過疎化を進ませ町へ町へ人を集める考え方はいかなものかと思う。アレルギーなど、化学的なものに過敏に反応する人が多く自然の大切さをもっとアピールすべき。	1	社会環境
青森県で子育てしていけば、間違いないかなと思う。空気がキレイ、水はおいしい、四季を感じ、食も安全だし、私は今のこの青森県での子育てにとっても満足している。	1	社会環境
虐待やそれに似た行動をいけない事と事例をあげることが、申し出にくくなったり、隠してしまう状況になってしまうのではないかな。虐待している人や衝動的にしまった場合などの心のケア、何がいけなかったかという内容よりも、その後どうすればよいか実際の体験談などを広める方が先行ではないかな。	1	社会環境
これからの子どもの生活がどうなっていくか心配だ。年金制度も払った分は必ず返ってくるようにしてほしい。そうでなければ、今の生活でギリギリだと払わない人や、預金の方がいいと思ってしまう人が増えるのではないかな。青森県が先駆けて取り組んで欲しい。子育てしやすい青森県を望む。	1	社会環境
不況の時期が長く、共働きしなければ子どもを育てていく事はとても難しいと思う。子どものいる家庭をもっと社会的に保障して、育児に専念する人がいても普通の生活をする事が出来ればもっと子どもが増えてくるのではないかなと思う。	1	社会環境

回答内容	件数	項目
バブル崩壊で不景気になった頃に学生だった今の親たちは昔から就職に対する不安、結婚して子供を産み育てることへの不安（経済的）はあると思う。少子化なのはずっと前から。テレビも問題点をとりあげる数の方が多いので成功例をもっと扱えばいい。	1	社会環境
中学に入り、善悪の判断もつけられるようになったが、大人に近づくと今度は大人社会の影響を受けるようになる。犯罪に巻き込まれる事がなければ良いと気をもむばかりだ。	1	社会環境
安全な町づくりを希望する。昭和の時代のような、不審者なんていない、子供達が外で思い切り遊べる町を作ってほしい。便利なものではなく、自然、安全、昔のような町を希望する。	1	社会環境
生活に余裕があれば、子供をたくさん欲しいと思うが、生活面やこれからの日本の事（経済、放射能問題、自然災害、年金問題）を思うと、無理な家も多いと思う。自分の子供が大きくなる頃、どういう世の中になっているのか不安。	1	社会環境
子どもがのびのびと暮らせる社会になって欲しい。子育てがしやすい世の中になって欲しい。経済的にも支援がもっとあればいい。	1	社会環境
経済が不安定なので、これから先の子供の養育費・将来に不安を感じる。	1	社会環境
子供たちが外で元気に遊んでいる姿を見かけることがなくなった。企業（おもちゃ、ゲームメーカー）は得でも、子供達は健全に育っていない気がする。自治体や政府が真剣に取り組まなければ、人を思う心のない大人が増え、犯罪やトラブルが増すばかりだと思ふ。	1	社会環境
子供の才能を伸ばせるような環境が身近にあればいいなと思う。	1	社会環境
共稼ぎが多く、家を留守にする事が多い為、子供達だけの空間ができ、携帯電話やインターネットなど体を動かさない遊びが多く、そういったストレスや運動不足が原因で、「キレル子供」が出てくるのではないかな。	1	社会環境
老人ばかりが優遇されている気がする。	1	社会環境
市の団地に入っている。現在、部屋数が少なく、子供が男女のため部屋をそろそろわけたいと思うが、わけてしまうと親の部屋（寝室）がなくなるなど、住宅環境に不安がある。	1	社会環境
両親一緒に子育てには賛成ではあるが、父親、母親の役割をもっと子供達が理解できるような仕組みが必要だと思う。親同士や先生との会話でアサーティブにできない方が本当に多い。そのような光景を子供達がみており、小さな大人の社会のような雰囲気がある。	1	社会環境
家のまわりに子供達の同級生がいない。学校まではバス、タクシーで20分かかる。休日は友達と遊ぶことも難しい。これは「親の責任である」と言われたことがある。	1	社会環境
子供の中にも格差が広がっている。子供が小さいうちだけでもじっくり子供と向き合える社会になれば良いのだが、経済的にも現状はきびしいものがある。子育てにやさしい社会になる事を願う。	1	社会環境
田舎の方が子育てにはいいと言うが、実際生活するには買い物や遊びや人間関係を考えると、そう思えないことも多い。都会と田舎の格差を少なくしてほしい。	1	社会環境
いじめや子供に関わる事件や事故が多くなっている。	1	社会環境
学校でのいじめや、不審者の出没が不安で仕方ない。	1	社会環境
結婚する人、家庭を持つ人自体が減少している。大人になれない（ならない）人が多くなり、子供がいても、子供が子供を育てていたり、その親に丸投げしている光景をよくみかける。就労していない男性が多く、そのような男性と結婚する女性は少ない為、子供が少くない社会となってしまっている。生活のレベルを下げたくないため、女性も自分より収入の少ない男性とはもちろん結婚したいとは思わない人が多い。	1	社会環境

回答内容	件数	項目
この町に住んでいる事はとても嬉しい事と思える町になってほしい。不満や不安は様々あると思うが、町民として乗り越えていける社会でなければ、町民としての”ほこり”が見えなくなるようである。子供だけでなくお年寄りのことも含めた全ての町民が幸せを感じられる世になってほしいと思う。	1	社会環境
幼稚園、小学校、中学生までとても眠そうな様子で居る子が増えた気がする。子どもにゲームなど、簡単に与えるのは親としては楽だけど、与えられた子どもの意志も考えてほしい。私たちの小さい頃はモノが無い中で様々なことを自ら探し暮らしていたが、最近モノがありすぎ、子どもの目線で見つめてもらうことが、この世から無くなってしまった気がする。	1	社会環境
行政に対して要望をあげるときりが無いが、子供たちが笑顔でいてくれるので私たちも不満ばかり言っていないで、頑張ろうと思える。ただ、道で「こんにちは」と大人からあいさつすると、不審者扱いされたりというのは、やっぱり安心して生活できる世の中ではなくなっているのかなと不安である。	1	社会環境
有害情報が多くなり、情報発信に対する責任が希薄だと思う。	1	社会環境
犯罪のニュースが多いので、明るい楽しいニュースが発信される様な社会になるように願う。	1	社会環境
母子家庭に対する偏見の目がまだある。	1	社会環境
子供が減っているのは、核家族化は育児には不利であるから。社会全体で見直さない限り、出生率の向上は不可能である。老後の不安もその一つ。	1	社会環境
女性が出産後、働きやすい環境を整えたり、保育所を増やしたり、大切なかもしれないが、子育てを人任せで本当にいいのかとも思う。親に合わせて夜遅くまで起きている子が増えてきていると言われているので、子どもが健全に育つのか少し心配になる。	1	社会環境
子供のことが大好きだが、仕事をしないと生活ができない、仕事をしているから子供と密にふれあう時間が少なくなり、家事と育児どちらも中途半端になりがち。これから先のことを考えると、3人目の子供がほしくてもあきらめるしかないと思ってしまうような現状を変えてほしい。	1	社会環境
塾で補足するのではなく、土曜日でも登校・授業をして、学力をつけてほしい。	5	学校・教育
イクメンが増えているが、男性へのパパになる前の教育、親になる覚悟をもてるくらいの教育をしていっても良いのではと思う。女性への理解を深めるうえでも、女性が妊娠するということ、子どもが産まれるということ、子どもを一人の人間としてみられるかどうかなど。	3	学校・教育
小学生になり、部活や学校の活動も、親の負担が多すぎるように思う。子供が参加したいと思っても、送り迎えや当番などの話を聞くと、入れてあげられない。大会や競技会、時間の都合が付けば応援・参加・送迎はしたいが、半強制的であるのため、地域や学校・行政などでどうにかできないのか。部活をやらせてあげたいけど入れられないという声はとてもよく聞く。	2	学校・教育
教師の質が低いことに不安を持っている。先生個人の学業レベルが高くても、教え方が上手なわけではない。青森県は、教員免許試験を見直したり、再教育に力を入れてほしいと、子を持つ親として思う。	2	学校・教育
小中学校の部活動の種類が少ない。少ない中から選ぶのではなく、いろいろな中から選ばせたい。	2	学校・教育
昔と違い、今の子供達は車で送迎してもらい登校。忘れ物をしたら親が届ける。台風が来るとなると、学校から会社に「送迎して下さい。」と電話がくる。まともに仕事ができない。	1	学校・教育
個人情報保護法で、例えば学校で何かあった時にいちいち学校が他の親に許可をとって連絡先を伝えるなどできればなくしてほしい。	1	学校・教育

回答内容	件数	項目
あるテレビ番組で”いじめのない学級づくりへの取り組み”が放送された。いじめはとて大きな傷を残すし、クラス一団となって仲の良い学級で育ってきた子は、大人になっても思いやりや協調性等もあるので、是非青森でも取り組んで欲しいと思う。	1	学校・教育
子どものいじめ問題に悩んでいる。同じ学校でも、担任の先生によって対応が全く違うことに不満を感じている。県又は市の中で、いじめに対する先生達の研修会や情報交換会などで、子ども達が平等に楽しく学校生活を送れるように指導して頂きたい。	1	学校・教育
下級生に対して一方的な暴力(叩く・ける・言葉)をすることを軽く見ないでほしい。その場では謝っていても先生の目の届かない所ではまたしている。暴力をうけた子供は逃げる事もできず、誰にも言えない事もある。先生が子ども達の話の聞こうという姿勢になってほしい。子どもが先生の顔色をうかがうような事があってもいいのかと疑問に思う。	1	学校・教育
いじめ問題がなくなるような社会になってほしい。	1	学校・教育
子供の『いじめ』で悩んだ事がある。担任の先生に相談したにも関わらず校長先生が「我が校は『いじめ』はありません。」と言っていた。悲しい思いをした。	1	学校・教育
土日が休みの所で働けるとは限らないので、土日の子供の行動に目が行き届かないことに不安がある。土曜日も学校があった方が安心だと思う。	1	学校・教育
目標をもって行動する子どもが少なくなった。我慢できない子も将来への導きとして教育が欲しい。	1	学校・教育
学校(部活動等)で、もう少し人間関係について指導してもらいたい。	1	学校・教育
高校生から、専門的技術をつけさせる体制をつくる。	1	学校・教育
法律や投資などの現実的な教育の場を設ける。	1	学校・教育
命の大切さ(モラル)を学ばせる。	1	学校・教育
学校での先生の威厳がなくなっている。モンスターペアレンツがいるかもしれないが堂々としてほしい。	1	学校・教育
中学校の先生は、校長先生などの上司の評価を気にしすぎるせいか、子供一人一人の個性を無視し、成績などの結果をあげることばかりに重点をおきすぎている様に感じる。一人の人間として、個性を認めた教育をしてほしいと思う。一人一人が”生きがい”を見つけられるような教育を。そういう点では、中学校の教師のレベルの低さを感じる。	1	学校・教育
2020年東京オリンピック招致に伴い、スポーツ立県宣言による展開をする本県においては、今後、各競技団体のトップアスリートによる小中学校での講演(元日本代表など)や競技の技術指導などを今まで以上に活発化して、トップアスリートを身近に感じさせる機会を増やしていただきたい。	1	学校・教育
勉強も大事だが、知識ばかりで知恵のない子も多いと感じる。つめこむ勉強よりも個性重視の世の中になってほしい。	1	学校・教育
小学校、中学校の父母会への出席者は母親が98%で父親の参加はほとんどない。父親も出席できるよう努力してほしい。(学校関係者)	1	学校・教育
県内の公立高校に美術科をもつ学校がなくなり、遠方の私立高校を選択せざるを得なかった。特色のある学校がなくなり、選ぶことができなくなる現状はとても残念だと思う。費用の面でも大変である。	1	学校・教育
中学校の先生は、本当に子供の気持ちをわかろうとしているのかと不安になる。例えば、他の先生の事で相談したとすると、他の先生に先に話して、相談した子に他の先生から話があり、その子は担当の先生も信用できなくなったりする。子供の気持ちをふみにじるような事はどうかと思った。	1	学校・教育
子育て用にわたしたちのお金を子育て以外に使用するモラルのない親を懸念する声もあるが、そんな信用のない人間を育てたのは教育である。道徳教育をないがしろにした学校教育の結末が今の親だ。だからこれからの子ども達に、子育ての大切さや意味、そして人間としてのモラルをきちんと教育すべきだ。	1	学校・教育

回答内容	件数	項目
うちの小学校では携帯をもたせることができないのだが、共働きの家庭などは子供の居場所が心配であるため、先生のあずかりで帰りに返却してもらえるようにしてほしい。自然災害、防犯など女の子なので心配。防犯上、名札での登下校もやめてほしい。	1	学校・教育
現在の一貫性のない教育方針は、子供達の将来に良い影響を与えないと思う。自立した大人になるためには、いつから、どんな教育が必要なのか、もう少し指導してほしい。	1	学校・教育
町はずれにある小・中学校、人数が少ないからといって、統合ばかりを進めるのではなく、その地域に住みやすくして人が増えていく事に力を入れるようにしたら良いと思う。大人数の所で、とけ込めずにいる子も結構いるのではないかと。結局ふり回されるのは子供である。	1	学校・教育
子育てしやすい町、地域づくりには、まだまだなっていないと思う。自然の中にある学校を残すようにしてほしい。事情があり、学校に行けない子、体の弱い子の違う道として、残しても良いと思う。	1	学校・教育
あいさつや礼儀作法の徹底。質の高い教育を学校で行い、全国の上位になる。徳育による人間教育を行う。	1	学校・教育
学校も合併は避けられないのもわかるが、スクールバスと町民バスを多く設けるなど、子供達が学校通学、部活動に不便を感じないよう努めてもらいたい。	1	学校・教育
体罰は子供の教育上必要であると思うが、世間的に児童虐待であるとか保護者が騒ぎ立てる、いわゆるモンスターペアレントが増加している傾向にある。しかし、それによって学校教育の妨げとなり、教育者が親にビクビクしながら、中途半端に教育を行い、社会性が育たないまま成長していく原因となると思う。それでは何のための”学校”であるのかかわからない。やりすぎは良くないが、適度な体罰は子供にとって、必要であると思う。「良い・悪い」の区別は、幼児・学童期にしっかり見につけさせるべきである。	1	学校・教育
受験では前期、後期制度がなくなったり、受験校の減少で、とてもあと一人産もうとは思えない。公立で入る所が無ければ私立だが、それだけの経済力はない。	1	学校・教育
他校訪問(小・中・高・大 相互に)	1	学校・教育
難しいかもしれないが、障害を持つ子供たちも一緒に学べれば本当はいいと思う。先入観なく接することができれば、大人になってからも素直に手を差し伸ばすことができるし、差しのべられた手を素直に握ることができると思う。どちらにとってもいいと思うし、将来の日本は確実に良くなると思う。	1	学校・教育
勉強でもスポーツでも出来る子は特別な待遇をしたほうがいいと思う。	1	学校・教育
自分たちが子どもの時と比べて、悪いことをした時にしかる大人が減った。学校の先生たちもあまり叱ることがなくなったように思う。今の時代は、すぐに『体罰』と言われてしまうからだろう。でも、自分たちの時代にはいた、怖い先生のおかげでいろいろと成長できたような気がする。	1	学校・教育
学区外の学校にも自由に通える社会になってほしい。	1	学校・教育
保育園への入園希望は多いのに、なかなか入れない。保育園を増やしてほしい。	5	学童保育
土日の学童保育がほしい。	4	学童保育
学童がない低学年(3、4年)などで共働きの子などは、かぎっ子で家に1人でおいておくのが心配だから、放課後でも学校で過ごせるようにしてほしい。また、学童をもう少し延長してほしい。	2	学童保育
中心部より郊外の方には児童館があり、安全に遊ばせることができうらやましい。放課後見ている大人がいて、いろんな学年の子供が混ざって遊べる児童館のようなものをもっとたくさん作ってほしい。気軽に行ける所に公園も児童館もない。	1	学童保育
現在、私の地域では学童保育もない為、子供達だけで家にいる始末で、目の届かない状況が不安だ。	1	学童保育
休みの日の小学校の仲よし会の時間を8時からとか早い時間にしてほしい。仲よし会に行っていて、塾が増えると退会しなくてはならないので習い事させたくても出来ない人もいる。	1	学童保育

回答内容	件数	項目
利用している小学校3年生までの学童保育が月3,000円で、7月・8月夏季休業の為、12月・1月冬季休業の為に月4,500円。高すぎると思うのだが、利用料の軽減はできないものか。	1	学童保育
今は子どもが保育園に入所しているからいいが、小学校に入学する時がとても不安。仕事をしているため、学童保育の充実を切に希望する。	1	学童保育
働くお母さんが非常に多いため、おあずかりから直接、習い事に行けるようになってほしい。習い事はお迎えバスが来るので学校からいければとてもいい。	1	学童保育
核家族化している中、小学生が下校し、両親が仕事終了帰宅するまでの時間、なかよし会、児童クラブ等機関があるものの、子供達から楽しくないという声を多く聞く。先生方も大変かと思うが、楽しい場所という認識を子供達が持ってくれる場所になったらいいと思う。	1	学童保育
病院・産婦人科がない・少ない	7	医療
インフルエンザの予防接種について、あれだけ毎年何人もの人達が感染してなぜ自費なのか。病院によって料金が違うのもおかしい。無料にして子ども達皆に受けさせてほしい。保育園に通っている兄弟の1人がかかると、感染していない兄弟も休ませて下さいとなり、仕事を休んで子どもを見ないといけない。	2	医療
産婦人科での細かい検査等（妊婦健診に含まれていない血液検査など）、妊婦の予防接種は無料化すべき。	1	医療
1才半、3才健診等があるが、健診のために休暇をとらなくてはいけなくなるため、平日ではなく、休日に合わせて行ってほしい。	1	医療
若い女性の子宮系の病が増えているようなので、治療に対し何か援助があれば望んで子供を持てる人も増えないだろうか。	1	医療
身体障害児を持つ親は次の子供をつくるのが難しいのではないかと。	1	医療
発達障害の子ども達に対して、まだまだ偏見の考えが多く、心が傷つくことが数しれずある。障害児を産んだ事のない人の中には、障害児をばかにしている態度もあり傷つく。こちらも堂々としていればよいのだが、どうしても肩身が狭い。このように意見を書いても、どうにもならないのも悲しい。	1	医療
今住んでいるところで、一番困っている事は医療機関についてである。かかりつけ医はもちろんだが、夜中の発熱、急な体調不良にきちんと対応してくれる医療機関が少なく、隣の市の病院へ通うお母さん達も少なくない。市民病院も、平日の午前中のみ診療受付の為、仕事をしているお母さん達は、本当に病院での悩みを多く抱えている。市町村や県をあげて、改善に取り組んで頂けたら幸いである。	1	医療
多動性のないタイプの注意欠如障害（ADD）など、見つけられにくい発達障害というものがある。そのため不幸になる親子が世の中にいる。そういう親子を1組でも多く救っていく社会的システムを今後早急に作ってほしい。例えば「子育てがしにくいと感じられるお子さんの場合にはいつでも相談しに来て下さい」という内容のことを乳幼児健診時に啓蒙するなど。障害のある子どもを育てている親の精神面・肉體面の支援をお願いしたい。	1	医療
以前住んでいた関東では、15才まで医療負担がなく、とても心強かった。現在住んでいる地区では数件小児科があるが個性が強い病院ばかりで行きづらい。	1	医療
乳児健診は集団にすると待ち時間がかかり親も子供もストレスがかかる。	1	医療
以前にくらべると、行政・町などの子育てに対する取り組みは良くなっている様に思う。	1	医療
病院が日曜日やっていないと困る。	1	医療
ADHDの子供がいる。これから、中学、高校など、どうなるか不安。配偶者は、ADHDを理解していない様子で、子供が叱られないように、かばうしかない。	1	医療
助産院と大きい病院の連携を深め、出産場所の”たらい回し”を改善してほしい。	1	医療

回答内容	件数	項目
以前住んでいた所では多く感じるくらい健診があり、子育て中のママさん方や保健婦さんとの交流もあった。だが、転入した街では健診の回数が少ないため、子供同士はおろか、親同士の接点もない。人との関わりが少なく何となく不安を感じる。	1	医療
救急病院（夜間等）等だけではなく、個人病院でも夜間に対応してもらえる病院の数を増やしてほしい。	1	医療
子育てをしていると忙しさや疲れから、イライラしたりして子供のことを怒りすぎたりして、あとから反省することがある。妊娠中に思い描いていた生活とは全然違って、理想と現実のギャップにとまどった。	9	育児
男性（特に30代後半以上）の育児参加への考えが低い。	3	育児
子育てはたしかに大変で、家事、仕事、子育て…と自分の自由な時間もなくなり一日が終わり、毎日クタクタだが、それ以上に子どもが可愛く大切な存在だ。	1	育児
子育てはイライラすることもあるが、子どもがんばっているの、親もがんばれる。	1	育児
子育てしていると、知らず知らずいろいろな人達に助けられている事をとても感じる。チャンスがあるなら子供を産み育て、人の命の大きさや存在することのありがたさを若い人に感じてもらいたいと思う。子育ては大変な事ばかりでなく、幸せがいっぱいである。	1	育児
子育ては絶対に1人ではできない。あたたかく見守ってくれる中で子育てできれば最高である。子供も1人1人違うため子育ても1家庭ごとに違ってくる。柔軟に対応できる社会になればいいと思う。	1	育児
子育てに関わる人数は一人でも多い方がよい。その人の手、人の声が虐待を防ぎ、命を救うのだと思う。	1	育児
最近はとても子育てしやすい環境になっているが、仕事をしながらの子育てとなるとやはり負担を感じて辛くなることもある。家族の協力なしでは、仕事をしながらの子育ては大変である。	1	育児
出産、子育ては、1人の子供を成人になるまで育てる責任があるが、それは一時的なもので誰もが通るもので、気を張ってとりくむべきものではない。子育てで少しずつ親も成長していけるのだということを知ってほしいと思う。	1	育児
子供を育てることは自分自身たくさん気づかされることがあり、子供と一緒に自分が成長していくような気がする。子供を育てるのは簡単ではないけれど、過ぎてしまえば、楽しい出来事のほうが多い。子供達に感謝している。きっと子供達もそう思ってくれていると思う。	1	育児
子どもや子育てには個別的な考え方があり、統一しようとしても無理がある。	1	育児
気がついたら大きく育っていた。	1	育児
子育ては失敗の連続で当然だ。そうやって母や父から母親や父親に成長するものである。父母への育児アドバイスだけでなく、祖父母など他の世代へのアドバイス（昔と今の違い）を周知する取り組みもあれば救われる育児世代も多いと思う。	1	育児
母親の影響が子育てに重要であることに気づかされる。他の家庭、学校の先生方、自分の親など、情報も集めながら、お母さんが笑顔で家庭にいられる環境が望ましいと思う。	1	育児
30代すぎの子育ては、体力的につらい。昔の人は10代から子育て。身をもって、なるほどと思った。	1	育児
お母さん達が癒される場所などが出来るといいなと思う。子供にもっとたくさん愛情をそそげるお母さん達が、多くなってほしい。	1	育児
子どもや子育てを考えることはもちろん大切だが、親としての自覚や成長を不安に感じる事がある。一般的な家庭より生活は劣るものの、一生懸命さは負けていない。	1	育児
子どもの反抗期など、毎日悩みっぱなし。	1	育児

回答内容	件数	項目
できるだけ様々な体験をさせ、力強く生きるため、また心豊かに生きていくことができるよう見守っていきたい。経済的な理由で制限することがないよう子どもの未来のためたくさんの協力を得て育てていきたい。	1	育児
出産した時に思ったことは、冬の生活が大変だった。雪かき、買い物など、気軽に頼める人が周りにいると助かるのでは。転勤族の方は大変そうだった。	1	育児
子育ては夫婦でがんばるべきだ。その上で地域や、社会や、まわりの人たちに、支えをお願いするのが本来の形なのかと思っている。	1	育児
できるだけ伸びのびと育て欲しく、無理強いほしない様にしている。兄弟が多い事で、上の子の負担にはなっているが、兄弟のふれあいは他には無い事だと思っている。	1	育児
子育ての責任は父母、とりわけ母に重くのしかかる仕組みになっていると感じる。産むことは母親にしかできないが、育てることは母だけでなく、父や親族、社会である程度分担できることと思うから、もっと子育てに前向きに取り組めるような社会になればと願う。	1	育児
若い人を見ると今のお父さんは子育てにとっても積極的だと思う。家事にも参加していて私達の若い頃とは比べ様もない。とてもうらやましい事である。	1	育児
基本的には、本人の性格、意思等を尊重させたいが、やはり幼児期からの「しつけ」が大事だと思う。言動、勉強、スポーツ、遊び、様々な事について本人に意見し又、本人の意見を聞く、そして親として正しい方向に考えさせながら見守ってみたいと思う。	1	育児
子育ては大変だけど、せめて1才までは親が子育てしてもいいのではと思っている。	1	育児
子連れでも周囲の人に気遣うことなく、食事をしたりできる環境が増え、ママ友を作る場も増えたらいいと思う。	1	育児
姉弟げんかが激しくて困っている。自分自身の躰に問題があるのだと思うが、実際どうしたらいいのかわからない。	1	育児
『早く〇〇しなさい』毎日何度言っているだろう。私自身心にも、時間にもゆとりがなく、つい言ってしまう。心にゆとりを持ち、1日の中で少しでも良いので、待って見守る時間ができるようにしたいと思う。	1	育児
仕事と家庭(子育て)の両立で、毎日、忙しくしている。上の子は小学校2年生になるが、ごみの日にごみ捨て等お手伝いを通して、家庭での役割をあたえ、やりきった時にほめるようにすることを心掛けている。今後ともほめてはしかる、ほめてはしかるのキャッチボールをしながら、子育てと家庭の両立をがんばっていききたいと思う。	1	育児
毎日 8:00pm 頃の帰宅となり、学校の準備、小さい子との関わりが持てず困っている。保育士の仕事をしているが、人のご家庭を気にして助けている場合ではないと思ってしまう。	1	育児
子供が幼いうちは忙しくてよくわからなかったが、ようやく今、家族で暮らす幸せを感じている。上の子も高校一年なので一緒に暮らすのもあと2、3年だろう。そう考えるとあっという間の子育て期間だった。忙しくも楽しかった。結婚しても子供がいなかったら自由やお金に不自由はなかったかもしれないけれど、やっぱりさびしかったと思う。	1	育児
ある保育士の子育てブログの中で、これを出産前に知識として持っていたらという内容がぎゅっしりつまっていた。親になる前に知っておくことを少しでも学ぶ機会が誰にでもある事は、とっても大事なような気がする。是非必習課目に加えてもらえればうれしい。	1	育児
これからの若いお母さん達が楽しく子育てできることを願う。	1	育児
文化的にいろいろな経験をさせてあげられたり、安心安全な環境で子育てできたらと思いつつ、親としてやってあげられる事をするしかないといった毎日だ。	1	育児

回答内容	件数	項目
子供を育てることは大変だと思う。それでも4人産んで育てるということは、自分にとっても良い事だと思う。生活は厳しいが、今はとっても幸せである。ただ1つ、障害児と健常者の子供が居るが、最初は泣くだけ泣いた。その時に気づき、その子供に対して、どうしたらいいのか、ひたすら良いと思った事はしてきたし、していきたいと思っている。	1	育児
公園・広場など子供の遊べる場所の充実を望む。	30	遊び場・施設
天候が悪い時や冬場に遊べる室内の施設があってほしい。	24	遊び場・施設
遊び場として、小学校の体育館を解放したり、閉校した小学校の教室や体育館などを利用してはどうだろうか。	4	遊び場・施設
ママ同士が気軽に交流できる場所があって欲しい。ELMのスクスクールみたいな所で、もっと広い規模で安く入れるような施設を作ってほしい。	2	遊び場・施設
室内で遊べる市民体育館のプレイルームなど意外に知らなくて、とても残念だった。もっと早く知っていたらと何度も思ったのでみんなに知ってもらえる様に頑張ってもらいたい。マエダアリーナの公園もすごく楽しかったが、意外にも知られていない。県内全域に案内してほしい。	2	遊び場・施設
子どもの遊び場やレジャー施設が少ない。子どもの希望は室内プールや遊園地等が近くにあってほしいようである。青森県にもたくさんのレジャー施設があるのかもしれないが、情報が行き渡っていないのではないだろうか。	2	遊び場・施設
岩手県の県立児童館いわて子どもの森のような所がほしい。	2	遊び場・施設
放課後、子供が集まって来る家は決まっています、一方的に負担があり大変。	1	遊び場・施設
昔と違い今は子供たちが集まって遊ぶような場所が少なく、必ず親もそばにいないと不便。子供同士だけで遊ぶ機会が少なく、今の子は制限が多くてかわいそうだと思う。	1	遊び場・施設
弘前のヒロロにあるような無料で子供(0~3才)が遊び、親もゆっくりできるような場所が増えてほしい。	1	遊び場・施設
冬は子供達の遊び場が少ないし、雪国なのでスキーをもっと楽しませたいと思う。市内のスキー場は子供だけでも無料だったら経済的に負担が減るので連れて行きやすいし行く回数も多くできるのではないかと。子供のスキー道具のシーズンレンタルも市の助成があればいいと思う。	1	遊び場・施設
アウガの駐車場をさんぽ利用者には無料にしてほしい。毎日の駐車料金にかかる金額も負担になる。これから雪の季節になり、遊ぶところも限られる。	1	遊び場・施設
駅周辺に遊べる施設がほとんどないので公園や芝などを増やしてほしい。	1	遊び場・施設
子供達が外で遊ぶ所がない為、友達の家でゲームなどやり放題になり、体を動かす所が少ない。	1	遊び場・施設
子育て支援センターはあるが、参加できる時間や日程が限られているため、仕事を持っている親は利用できずにいる。子育ての経済的負担を軽くすることも願っているが、今現在の子どもの生活が楽しく充実したものになればと思う。	1	遊び場・施設
プールの数が少ないのに制限が多すぎる。	1	遊び場・施設
弘前に「流れるプール」はあるが、当市にはない。子どもが遊べるプールがあってほしい。	1	遊び場・施設
新青森駅周辺や、青い森セントラルパーク、浅虫の遊園地があった場所など土地があるのに、うまく活用できていない。子供の遊べるような所が少なく、他県に比べて劣っている。もっと、人を呼べるような所があってもよいのでは。	1	遊び場・施設
雪をうまく活用して、ダイナミックな雪上で遊ぶ(迷路など)ものや、たくさんの雪像を作って、札幌に負けないくらいの大きな規模でやってはどうか。	1	遊び場・施設

回答内容	件数	項目
家の目の前が公園なのだが、夏休みなど遅い時間まで中学生や高校生が遊んでいる。注意するのが怖くて見て見ぬふりをしている。夕方と夜に1回でも誰かが(できれば警察)見廻りに来てくれたらいいねとみんなが話しているが、こういう相談は町内会の人なのか市役所なのか直接学校なのか。色々近所のママ達と悩んでいる。	1	遊び場・施設
小学校低学年の子が、道路の真ん中を自転車で走っていて危険である。	1	遊び場・施設
大型デパートや住宅ばかりが出来ていくけれど、子供たちが安全に遊べる大きな公園を作ってほしい。	1	遊び場・施設
家の近くに公園もなく、自転車を買ってあげても安全に乗れる場所が全くない。結果、家でゲームばかりして遊んだり、親が遠くの公園まで送り迎えをしなければならなかったり子供にとっても親にとっても良くない状況である。	1	遊び場・施設
最近ヒロロが出来て、子育て支援施設が充実して便利になった。冬場遊ばせるのに活用できると思う。反対に小学生の子供(男)が遊ぶ所が近くになく、狭すぎる公園は多いのに、のびのび走りまわって遊ぶ場所が少ない様に思える。	1	遊び場・施設
子供が遊べる様な中規模の公園が少なく、今後子供が大きくなった時不便に感じる。大きな公園も必要だが小さな公園もあれば交流も深まるため、あると助かる。	1	遊び場・施設
約30年前は近所で、もしくは団地内で歳の隔てなく子供達が外で遊ぶ姿がよく見受けられたが、現在はさまざまな不徳な時勢の流れにより閑散としている。故に子供達の交流の場が学校だけになってしまい、体力的又は人間形成的にも我々父兄の中では懸念されており、この点を改善していくためには子供達にスポーツへ関わりを持たせて学区、地域を問わず交流させる事も必要だと思う。	1	遊び場・施設
昔のように安心して子供達だけで外で遊ばせる場所が無くなり、家でゲームばかりか、習い事ばかりでスケジュールが埋まっている両極端な子供が増えている。	1	遊び場・施設
公園などに事故防止のため、柵をつけてほしい。	1	遊び場・施設
大きい施設にはキッズルーム・授乳室をつけてほしい。	1	遊び場・施設
当町は保育園や子育て支援センターが多く、週に2~3回はセンターを利用させてもらい大変助かっている。交流の場や子供連れでも参加できるようなイベントや施設が少ない。	1	遊び場・施設
小学生は体を動かすのが大好きなものだ。だが近所に遊び場はなく学区にもしぼられている。もっと柔軟に考えてほしい。	1	遊び場・施設
最近では危険だという事で近所の公園にも遊具が鉄棒だけという様な所が増えている。過保護な感じがしている。なんでも危険だと排除してはダメだと思う。	1	遊び場・施設
当市は何を行うにしても対応が遅い。税金とっているのだからもう少し環境づくりにも力を入れてほしい。	1	遊び場・施設
昔に比べ子供を狙った犯罪が増えている為、気軽に子供だけで遊ばせられず、行動制限をしてしまうため、子供の行動範囲が広がらない。自分の子供の頃のようにもっと自由に遊ばせて、色々な経験をしてもらいたい。	1	遊び場・施設
最近の子供達は、自然や公園が少なく、外は危ないという認識があるからか、あまり外で遊んでいないような気がする。外で遊ばないためか、就寝時間が遅く、睡眠時間が短かったりしている。今の時期、外で遊んでいると ারা焼きのけむりで町全体がけむたく息苦しささえも感じ、ますます外で遊ぶ子が少なくなる。	1	遊び場・施設
安全な遊び場がない。広い公園や児童館もないし、校庭でも遊べない。放課後安心して遊べる児童館など学区に1つ作ってほしい。	1	遊び場・施設
公園、プール、広場など休日に安心・安全にあそべる様な場所が必要と思う。子供達のマラソン大会などのイベントを企画し活性化してほしい。	1	遊び場・施設
子育ての環境について、青森は冬、雪が多く冬場のレジャーとして、スキーや雪遊びなども楽しめるが、室内で子供が楽しめる場所がとても少ないと思う。室内で遊べる所や、もっと広い場所で遊べる大型施設を作ってほしい。ゲームセンターのような施設ではなく、体を動かして遊べる室内施設がもっとあると良いと思う。	1	遊び場・施設

回答内容	件数	項目
県外より転入してきたが、図書館も少なく、読み聞かせの回数も少なく館内は飲食禁止。周囲にもお弁当を落ち着いて食べられる場所もなく残念である。	1	遊び場・施設
自分の子は小学生で、上級生と遊ぶのはいいが、お金を持たせると、全部使ってしまった。カードを買いに行ってもカードを誰かに盗まれたりして、ちょっと育てにくい環境だと思っている。こんな状況が続くのであれば、実家が田舎なので将来的には戻ろうかと思っている。	1	遊び
家の周りに子どもたちが少ないため、友達と遊んだりすることが少なく、家でゲームをすることが多く、もっと外で遊んでもらいたいと思っている。	1	遊び
市町村によって、対策、サポートの差が大きい。	8	行政
ひとり親を支援する制度（母子（父子）手当など）があるが、そのせいで安易に離婚してしまう人が増えているのではないか。困っている人を助けるために考えられたものとは思いますが、きちんと審査をするべきではないだろうか。	3	行政
今の若い人は現金支給で子育て支援をすると自分のことにお金を使ってしまうから、給食費、保育料等を市町村があらかじめ差し引くなど現物支給がいい。	2	行政
市役所を通さずに保育園に入所している子供がいる。調査を徹底してほしい。今すぐ園に監査が入り調べるべきだ。	1	行政
子育て支援の充実、低所得者への手当等を望む。市町村だけではなく、県や国単位で考えてもらいたい。子供手当の金額を上げることによって、出産を考えても良いと思う方が増えるのではないか。	1	行政
良い環境で仕事をしているのは、役所仕事の人くらいでは？民間企業は違う。民間のことを何もわからない役人が行政してもこの国は何も変わらない。	1	行政
行政のおかげで、と感謝出来るような仕事をしてもらえらるなら、いくらでも税金を払うが、県民の為に仕事をし、それに誇りを持っている。という声を届けてほしい。生活に実感出来るかたちで。	1	行政
育児で悩み相談に行ったが、話は聞いてくれるが別の機関へまわされ、具体的な策は何も見えなかった。誰にも頼らず、全て自己責任でやっていくしかないと思った。核家族が多い現代で、一人で悩むお母さんが増えないよう具体的な政策・制度を発信してほしい。	1	行政
何を要望しても無理な国。	1	行政
住宅提供（若い世代）又は、新築時の減税。	1	行政
収入は減少し、税金は上がる。病院も遠く、少子化といいながら体制が整っていない状況で誰が子どもを産みたいと思うのか。産んで育てても、子どもが将来働く環境があるのか。国がやっていることと国民が思っている事に温度差、矛盾を感じる。	1	行政
国や県の援助金が少ない。	1	行政
国のわけのわからない莫大な借金とかとつとつとその時代でチャラにしてほしい。やらなければならないことに金がまわっていない。	1	行政
行政の子育て支援というグループがあるのを知り、とてもありがたいと思うが、お金がかかる子供の年齢をもう少し知ってほしい。国・県は、子供を産んでもらう為に、出産費の助成などで支援しているが、一番お金がかかるのは、中学・高校。中学校までは、手当があるがまだまだ足りない。	1	行政
県でも、もう少し、青森県を活性化するように、頭をつけてほしい。	1	行政
職員のみなさん、事務的な仕事でなく、外へ出て、市民の話を聞いてのアンケート結果を！	1	行政
困っていることを市役所にもお願いしても、決まっていることなので無理だとはねつけられる。検討しているという対応の仕方はできないのか。	1	行政

回答内容	件数	項目
未婚者が多い。子供が少ない。高齢者が多い世の中にどんどんなっていく気がする。結婚する前は、私も金銭面がとても不安であったが、色んな面で行政の手助けもあるので、どうにかやっつけている。そのへんを周知すれば、ある程度の不安がとり除け、結婚や出産の意欲もでてくるのではないかと。引き続き行政の手助けと、今後更なるバックアップが必要不可欠であると考えます。	1	行政
大臣が国の事を、良く考える人であれば、変わると思う。	1	行政
世間では待機児童の問題とか保育所が足りないと話題になっているが、それは都市部の問題で、青森県内の過疎地域では、子育てに関し、別の問題が顕在している。青森県庁の方々、国の施策待ちではなく、自分たちの地域のことを考え、大変であろうが、地域に沿った子育て支援の在り方を考えてもらいたいと切に願う。	1	行政
少子高齢化による年金について、制度を整えて何とか、負担を、少なくしてほしい。未来の宝である、我が子達の住み良い社会になって欲しいと切に切に願う毎日である。	1	行政
子育てについて、環境整備や支援に関する提言がなされているが、現実として子供の数が増える事につながっているのか疑問。	1	行政
生まれた時や保育園児に対する支援は手厚くなっているが、公立の小中学校でも1人1ヵ月に1万～2万円の出費があり、これに対する支援は一般家庭では全くない。これでは子供をほしいと考える人に「全く問題ない」と言えない。児童手当の様なものは不要なので、子どもに関わる諸費用（塾等は除く）を全て無料にするといった、実効性のある施策をとってもらいたい。	1	行政
日本の今後を担う子供数が減っている。高齢化対策ばかり目を向けず、若い人が安心して、結婚、出産、子育てできる環境整備が急務である。	1	行政
「子供は宝」県や市はもちろん、日本全体で考えてほしい。	1	行政
青森県において出生率の数値目標を設定し、行政の仕事に対する責任の所在をはっきりさせる。	1	行政
子供子供と言うわりには公共団体の方々には子育てをしている親の事を考えることがあるのか疑問に思う事がある。子供がいる事で社会から疎外感を受ける事すらある。	1	行政
世の中に余裕がない。みんな余裕がない。余裕があった時代の人間が理解できるワケがない。「昔のように」などなるワケがない。新しい事を新しい人間に任せる事ができない国（大人）には未来は無い。	1	行政
まだまだ子育てをするのに行政のサポートが必要だと思う。	1	行政
小学・中学の合併により、バスや自家用車の送迎が多く、子どもの足腰が心配になる。この危険な御時世、たしかにバス・自家用車で送迎は安心できると思うが、市・町・村での防犯の強化を願う。地域住民のコミュニケーションにもなる。	1	行政
医療費が中学3年（卒業）まで無料になって助かっているが、一度支払いがあり、後から使ったお金が戻ってくるのではなく、八戸のように支払いがないようにしてもらえれば、安心してお金がなくても病院に連れていけられると思う。役場に一度レシートを持って行くのも手間である。	1	行政
少子化でたくさん問題が山積しているが、子育てにかかるお金をすべて国や自治体が負担するというような方法をとるだけでほとんど解決するのではないだろうか。子育てが家庭への負担にならなくなれば、たくさん子どもが欲しい人は持つだろう。	1	行政
少子化が日本国の将来を脅かす最重要問題である認識を持ってこども達の未来を考えて欲しい。	1	行政
少子高齢化と言われ続け、国では何とか、出生率を上げようとしているが、出産し、子供が就学するまでは、手厚い補助を受けられるが、実際、子供にお金がかかるのは、むしろ義務教育後からである。確かに手っ取り早いのは、今、出生率を上げる事かもしれないが、次世代の子供達が、子供を産んで育てたい。という制度を作り上げなければ、出生率は上がる事もないし、また、子供を産みたいという人も増えないと思う。	1	行政

回答内容	件数	項目
行政の方が子育てに関して少しでも環境を改善してくれることを期待している。	1	行政
今の時代、母子家庭の方たちの方が、お金に余裕がありおかしいと思う。預金もたくさんしているから、生活保護のようにもっと厳しくしてほしい。	1	行政
他県では小学生までの医療費を負担する等、積極的に親の負担を軽減する制度がみられる。他県から越してきて、あまりの情報・説明の少なさ、手続きの面倒さに驚いた。未就学児の医療費の請求に行くのも負担だったので、行ったことはない。システムに問題があると思う。子育てにかかる負担や不安を親の立場となって考え、政策に活かしてほしい。	1	行政
高校などへ進学する場合、国や地方自治体は、主要な都市部のみでデータを取っているように思われる。実際、青森においても「市」から一步離れてしまえば交通網は無いに等しい。「町」「村」に住まざるを得ない家庭において、子どもを進学させる際の交通費はかなり重い。「教育費」として考える場合、こういった事情もよく考慮してもらえると嬉しい。交通網も、もっと整備してほしい。	1	行政
県、市町村は情報を出していくべき。情報を出しているのであれば、だれもがわかるように「発信」してほしい。	1	行政
県外から転勤してきたが、役場の方がとても親切にして下さり、出産前で不安でいっぱいだったが安心できた。	1	行政
少子化と騒がれて何年も経つが、国として、県として、行動を起こすのが遅すぎる。特に我が県は、低所得、就職率が低いと家庭を持つには難しい状況。そこから改善していかない事には、若い人、未婚の人に家庭を持ち子供を産め、と言っても無理だと思う。産んでもそこから1人の人間として育てるには愛情だけでは育たない。	1	行政
多くの者から語られている、子育てへの不安、経済・環境の不安定、貧富の差など、国等の政策で様々な事を試みているのだろうがズレを感じる。根本的な部分を改革していかない事には様々な対策はせつかく税金を投入しても一時的な気休めとしかならないのは、おそらく誰もが感じている事であり、一般庶民の感覚を同じ目線で考えてもらえればありがたいと思う。この様な機会があった事はありがたく感じる。今後の政策に是非役立ててもらいたい。	1	行政
本県において各スポーツ活動が顕著な個人、団体については本県において活動資金の援助、又は各競技に携わる学生に対しては（特に7歳～18歳）主要大会等に出場などによる遠征費の補助金などについても県として検討してもらいたい。	1	行政
当市で運営している病院では母乳育児を指導しているため2人目を出産した時も母乳で育てようと思っていた。長女の保育園の入園申請の際、一人目の子供だけ入園させる事はできない、二人とも入園させるか、二人とも入園させないかどちらかにしなければいけないと言われた。よって2人目を母乳からミルクに移行せざるをえなかった。同じ市で運営している病院では母乳育児を推進しているのに矛盾していると思った。	1	行政
子育ての際にかかる費用（教育費等）の負担を軽減してくれるような法律等の確立。	1	行政
もう少し子どもの日々の生活や成長に目を向けて、行政として対応してもらいたい。1人の人間を育てるために、行政や地域がもっと協力して、みんなで子どもを大切に育てていくことができるようになることを願う。	1	行政
当市は子育て家庭に対しての援助が少なかったり、収入により受けられなかったりと不満が多い。	1	行政
特に我が町は何に対しても閉鎖的で、転入者に対して厳しい気がする。広報誌などでは良いことを言っているが、小児科や子育てに関するインフラ整備がまるでない。若年層や小さい子どもを持つ家庭が地域になじめないなどという意見を述べる人もいるが、行政の積極的な介入がないからだと思う。	1	行政

回答内容	件数	項目
そもそもこのようなアンケートをとったところで、自分の意見が反映されるとは思っていない。地域の考え方の違いなど、子育てのみならず、今の世の中にはいろいろな壁が存在することに限界があると思う。行政は世の中の流れに敏感になり、今、何が必要なのか常に考えるべきだと思う。セクト主義や稟議制も大事なかもしれないが、行政に携わる人たちが、部門の壁を気にせず協力し合いもっと県民の声に耳を傾けるべきだと思う。このアンケートがただの役所仕事で終わらないよう今後の行政に期待している。	1	行政
医療費がかからないのに、健診にお金が出るのはおかしいと思う。なんのために免除してもらっているのかと思う。	1	行政
子どもや子育てを夫婦共に関わりを深められる様、代休、振替休日、有給休暇等の取得が簡単に出来る社会構造を国が率先して対策、行動しない限り現状の改善は期待出来ない。統計とかアンケートだけではなく直接企業に出向きながら、国・自治体が模範を示せる経済活動を職種を問わず実行すべき。	1	行政
少子高齢化の進行が日本の将来を暗くしている。子供をもっと産める社会、経済の形を実現しないとイケない。国の予算で出産費用や教育費用の無料化等進めてもらいたい。	1	行政
子供が好きということだけでは生活してイケない。しつけや今現在の社会いろいろな影響を子供達も受けやすいということも、少子化のひとつではないでしょうか。国は考えているようだが、いつになることか。子供たちを育てやすい世の中になってほしい。	1	行政
子供たちはお金の仕組みに興味があり、国の借金など仕組みがどのようになっているのか質問したりするため、お金の使い道、使い方がわかりやすい正しい税金のありかたを考えてほしい。	1	行政
乳児健診や、就学前健診のお知らせがもう少し早めにくれればいいと思う。働いている親が計画的に休みを取得して、子供のための健診等に出来るように考えてほしい。みんながみんな簡単にお休みがもらえるわけではない。また、就学前健診では、他の場所からでも、子供が入る小学校で受けられるようにしてほしい。	1	行政
最終的に本当に困っている方の現状を知らない国、県が決める事で何も変わらないと思う。県から市町村にという考えであるが、小さな市町村では限界があり、良い子育て支援ができないと思うので、国、県がどれだけのサポートしてくれるかが大きいと思う。県でアンケート調査も必要と思うが、各市町村へのサポートにも重点をおくべきでは？	1	行政
この様な要望する機会、意見交換する場所などあればもっと意見が出て良くなると思う。	1	行政
子どもが欲しくてもなかなか授からず、不妊治療を行っている夫婦は多いのに、不妊治療に対する援助は全くと言っても過言ではない位、充実していないと思う。次世代を増加していきたいのであれば、現在の子供達への援助も必要だが、これから子どもを授かろうとしている夫婦への援助を増やしていかなければ、いつまでたっても少子高齢化は変わらないと思う。	1	行政
国でいろいろ対策は出しているが、政権が変わると対策も変わり、政策に未来のビジョンと継続性、一貫性がなく、年数をかけても、積みかさねがないままでは一つも先に進めないと思う。最も根本にあるものは経済的な問題だと思うが、金だけばらまいても、子供の為に使われるとは限らず、物理的な支援を重視すべきだと思う。例えば、女性も家庭の経済を担わなくてはイケない今日で、金銭的に負担の少ない預かり所を作るとか、離婚して母子家庭や父子家庭がなりたつ様な施策を考えれば良いかと思う。	1	行政

回答内容	件数	項目
今の日本、青森の現状から、近い将来財政的にも苦しむ事、1次産業が中心の県の労働に大きな影響が出る事がわかっていながら、特効薬が無く、後の世代へツケを回し、今は何とかなっているから後々考えようでは時すでに遅し。こういうプロジェクトチームは20代~30代が中心となり、ある程度の決定権を与えて素早く処理しないといけない。本気でやろうとするなら前例の無い事になるだろうから、そこの口火を切って子育て大国として育児で育てるなら青森で！と移住者が出るくらいの活動をしてほしい。	1	行政
子供達を安全に安心して通学させてあげる環境づくりをお願いしたい。(通学路の歩道の確保、外灯の増加、歩行者信号の設置など)	2	交通
子供の習い事をさせたいと思っても、金銭面的な問題や近くに習い事をさせる場所もなく、車での移動が不可欠となっている。公共交通機関の運行本数が減り、子供がある程度大きくなって、やはり通学(進学)に制限がでてしまうから、公共交通機関について少し考えてほしい。	1	交通
アンケートの質問数が多すぎて時間がかかる。もう少しテーマを絞ってほしい。	4	調査票
こんなアンケートをとっても何も変わらない。	4	調査票
このアンケートがどのように活用されるのかはわからないが、意味のあるものになれば良い。	1	調査票
このようなアンケートを作成して頂き、ありがたい。これからも、大事な子供達の未来の為に、一緒に頑張っていきたいと思った。	1	調査票
たった2000世帯のアンケートで何がわかるのか。無作為に抽出されているので、アンケートにかたよりがでるのではないかと。	1	調査票
無作為に選んでいる割には選ばれる確率が高く感じる。	1	調査票
全体的に「配偶者のいらっしゃる方のみ」にお聞きしたほうが良いのではないかと思う内容のアンケートだと思った。	1	調査票
今現在、子供を育てている親たちはこのアンケートにあったような、自分、配偶者の立場や、利益、不利益だけで育児をしている訳ではないと思う。	1	調査票
将来子供が携帯やスマホ持ったときに、インターネットやLINEなどのトラブルにあわないか今から心配だ。	3	その他
これから、将来のある子供を持つ母親として、福島原発の放射能によるさまざまな影響について心配している。同様に、六ヶ所村の再処理施設の稼働については県民への説明も不十分であると思うし、これから青森に住む者として、ぜひ中止してほしいと思う。これ以上、海や大地の汚染をしてはならない。せっかくの豊かな自然、青森の美味しいもの、これは必ず守っていかなくてはならないと思う。	2	その他
周囲にも結婚しない男女(30~40代)独身がとても多い。そういう方々が“今さら”と思わせないような気持ちと社会の接し方があるといい。タイミングを作る事も必要だと思う。子どもの数を増やす為には結婚して欲しい。	1	その他
年代的にも子供を持つ友達が増える一方で、結婚しない友達も多く、女性の収入が増え、社会進出の結果、結婚しない・子供はいらない・自分の自由な生活が一番という友達も多くいる。女性の出産できる時期もそう長くないということを若い世代の女性にもっと広めることで、就職してからの人生設計もまた変わるのかなと考えている。	1	その他
最近は晩婚の方も多く、どうしても出産が高齢化になるのは避けられなくなってきている。そして出産をあきらめる方々も増えているのではと思う。子育ては体力もかかってくるので大変なこともあるが、育てる喜び、楽しさを味わえるのではないかと考えている。どうか高齢の方々もあきらめず、頑張ってもらいたい。	1	その他
お見合いをもっと流行らせて結婚率を上げて子どもを増やす。ただ、少子化は深刻化しているので止まらないと思う。その少ない子どもをどう手厚く育てはぐくむか、家庭で頭の使い方、思いやりを教育出来る親は少ないと思う。	1	その他

回答内容	件数	項目
少子化とは言われているが、私の周りは子どもが増えたように思う。初対面でもうちの子に声をかけてくれたり、私に自らあいさつしてくれる小学生、中学生もおり社交的な子が多くなった印象がある。	1	その他
女性手帳は必要とは思わない。もっとほかに周知できる方法があると思う。	1	その他
小学生がゲーム持ってあたりまえになった今、どうやって外遊びをしていいかもわからない子供は少なくはないと思う。コミュニケーション能力が低下してはいないか。中1でほとんどの子が彼女・彼氏がいるなんて話も耳に入っている。	1	その他
「少子高齢化」が危惧されるようになって何年も経っているが、何か変わったのだろうか。皆さんどう思っているのか聞いてみたい。	1	その他
スーパーで、おひとり様1コまで（小学生以上）とあるが、小さい子を連れて買い物するのは大変。がんばって連れて来ているのだから小学生以下でもOKにするべき。それだけでも子どもがいて良かったと思える。小さいことでも幸せを感じることができるとHappyになる。	1	その他
我が町の小学生の通学かばんについて。ランドセルではなく指定の通学かばんを使用しているが、せめて肩ひもをランドセルのように幅広にして欲しい。子供の事を考えてくれるなら、きちんと、子供がどういう状況で、学校に行っているか見て欲しい。アンケートをとるなりして、かばんに対する意見をきいてほしい。今すぐにでも、製造会社に改良を求めたいくらいだ。	1	その他
このままだと一生青森県の出生率はあがらないと思う。子供を育てる世代に優しい県であってほしい。	1	その他
親の教育、子の教育ともに、5年10年以上の長期に渡る教育が必要と思う。普通に生活できる経済水準があれば盗みをする必要はないし、他人を傷つける理由は減る。人として当たり前の事を学ぶことが重要で、教育が必要な事は間違いないと思う。ただ、偏向教育は教育ではなく、マインドコントロールと同じで、注意が必要と考える。	1	その他
一度にたくさんを改善していくことは難しいとは思いますが、まずは青森県民みんなが子育てしようという意識を持つことなのかなと思った。今回のアンケートで、少し自分の子育てについて考え、何か自分も動かなきゃという気になった。	1	その他
住んでいる町の事を深く知る事ができるようなプログラムがもっとあればいいと思う。大人でも知らない事がたくさんあって残念に思う。	1	その他